

医療最前線

新型コロナウイルス ワクチン

接種のあれこれ②



薬剤師 平田侑子

も、新型コロナウイルス 発症予防効果は100%ではないと見られています。十分な免疫が確認されるのは2回目の接種から、ファイザー社ワクチンで接種後7日以降、武田/モデルナ社ワクチンで14日以降となっています。

前回は、新型コロナウイルス ワクチンと他のワクチンの違いなどについて説明しました。今回は、新型コロナウイルス ワクチンの有効性、副反応などについて説明していきます。

効果の持続期間については、まだ臨床試験からの時間があまり経過していないことから不明なため、今後の情報が必要になります。

効果の持続期間については、まだ臨床試験からの時間があまり経過していないことから不明なため、今後の情報が必要になります。

ただし、免疫抑制剤を内服されている方や重い免疫不全がある方は治療の対象とはならず、他の方と同等の効果があるのか、はつきりとは分かっていません。

■副反応について

新型コロナウイルス ワクチンの接種による副反応は、現時点では短期間で分解される人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではないと思われる。確かに、身体の中で人の遺伝情報(DNA)からmRNAがつくられる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAはつくられないことから、mRNAを注射することで、その情報が長期間わたって残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

■有効性について

新型コロナウイルス ワクチンの接種後に感染したという話をニュースで耳にしました。効果が本当にあるのですか？

変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか？

一般論として、ウイルスは絶えず変異を起していくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるといっわけではありませんが、一部の変異株においてもワクチンが有効である、という実験結果も発表されています。

国内で承認されているファイザー社のワクチンでは、発症予防効果は約95%と報告されています。発症予防効果が95%というのは、例えば未接種だと100人感染したとしても、接種した場合は5人しか感染しないという結果で、感染リスクを20分の1に減らせるということを意味します。

同様に、国内で承認されている武田/モデルナ社のワクチンも、発症予防効果が約94%と報告されています。また、海外で接種が始まっているアストラゼネカ社のワクチンでも、

効果の持続期間については、まだ臨床試験からの時間があまり経過していないことから不明なため、今後の情報が必要になります。

体内に異物を投与するため、どの種部位の腫れ・痛み、こしたことがある人は、接種を推奨しません。

治療を要したり、障害が残るほどの重度な副反応は極めてまれですが、何らかの副反応が起る可能性をゼロにすることはできません。

今回のワクチンは遺伝情報を受け継ぐという点で、不安や疑問が生じた際にはチェックしてみてください。

今回の新型コロナウイルス ワクチンについての情報が日々更新されていますので、不安や疑問が生じた際にはチェックしてみてください。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

今回のワクチン接種は、接種を推奨しません。

（梶川病院）広島市西区天満町 薬剤師 平田 侑子